

様式第 6 号(第 2 条関係)

委員会等の会議録

1 会議名	令和 7 年度愛南町(篠山小中学校組合)総合教育会議
2 議題	(1) 愛南町のエデュケーションについて (2) 校内サポートルームの開設について (3) 授業参観 (4) 学校教育課からの報告について (5) 質疑応答
3 開催日時	令和 7 年 7 月 3 日(木) 13 時 25 分から 15 時 00 分まで
4 開催場所	愛南町立城辺中学校 2 階 第 1 図書室
5 傍聴者数	0 人
出席者	
6 出席者	(1) 愛南町長 中村 維伯 (2) 愛南町教育委員会(篠山小中学校組合)教育長 中尾 茂樹 (3) 愛南町教育委員会教育委員 大野 甲子彦、上原 京子、宮本 裕司 (4) 篠山小中学校組合教育委員 岡原 健二(教育長職務代理者)、岡原 浩
7 オブザーバー	(1) 総務課長 濱 哲也 (2) 企画財政課長 清水 雅人
8 担当所属	(1) 学校教育課 課長 坂本 一利、課長補佐 山川 富美夫、 課長補佐 二神 裕暁、課長補佐 蓮田 修平 (2) 生涯学習課 課長 織田 浩史 (3) 愛南町立城辺中学校 校長 鉾岩 俊二
議事内容(次ページから)	

発言者	発言内容
坂本学校教育課長	それでは、ただいまから、令和7年度愛南町篠山小中学校組合総合教育会議を開催します。始めに、中村町長が御挨拶申し上げます。
中村町長	(開会挨拶)
坂本学校教育課長	それでは、次第「3の協議事項」に入ります。 「(1) 愛南町のエデュケーションビジョンについて」、中尾教育長、よろしくお願いします。
中尾教育長	(説明)
坂本学校教育課長	続いて、「(2) 校内サポートルームの開設について」、城辺中学校の経営方針と併せて、鉾岩校長、よろしくお願いします。
鉾岩城辺中学校長	(説明)
坂本学校教育課長	ありがとうございました。続いて、不登校児童生徒の現状について、学校教育課、山川課長補佐から説明します。
山川学校教育課長補佐	(説明)
坂本学校教育課長	続いて、皆さんに、校内サポートルームを実際に見ていただき、また授業参観も行います。鉾岩校長が御案内しますので、御移動をお願いします。
出席者全員	(サポートルームの視察及び授業参観)
坂本学校教育課長	続いて、学校教育課から皆さんに報告がございます。 まず蓮田課長補佐から、南宇和高校の学生寮の建設について、報告します。
蓮田学校教育課長補佐	(報告)
坂本学校教育課長	続いて、二神課長補佐から、篠山小中学校の休校、閉

二神学校教育課長補佐	校に向けての動きについて、報告します。
坂本学校教育課長	(報告) 以上、学校教育課からの報告でした。 最後に、質疑応答の時間を設けます。皆さん、これまでの会議の内容、また教育行政全般についてでも構いません、何か御意見等ございますでしょうか。
大野教育委員	南宇和高校の学生寮の話ですが、今日初めて聞きましたが、ちょうど昨日、お会いした方と話したときに、愛南町に食堂を作ればいいのに、ということをおっしゃっていらしたので、一緒に御検討いただけたら、と思います。地域に食堂を作れば雇用も生まれますし、地域資源を活かす意味でも良いかなと思います。学生寮の話が出ましたので、ちょっとついでと言ってはなんですが、お話ししてみました。
坂本学校教育課長	何人受け入れるか、運営体制も並行して協議していかなくてはなりませんので、ワーキングチームだけでなく、南宇和高校の振興協議会、PTAの皆さん、生徒会の役員等皆さんの意見を伺いながら、大野教育委員がおっしゃられたような、地域の皆さんが関与できるような、全国から学生を迎える運営体制を作りたいと思いますので、また定例の教育委員会の中でも御意見をいただきたいと思っています。
宮本教育委員	南宇和高校生徒の全国募集、いいですね。ただ、町の方で魅力化事業に取り組まれています、本当に南宇和高校に行きたい、と思えるような学校になれるかどうか、ですね。 例えば、長浜高校のように、水族館であれだけ有名になって、定員オーバーするぐらいになればいいですけども。生徒に高校に行かせるのではなく、生徒自身が何かしたいと思える高校であれば。 かつての南宇和高校であれば、サッカーで行きたい、とかありましたが、例えば、愛南町の特色を活かした農業、水産業とか、子供たちが活動してみたいカリキュラ

坂本学校教育課長	ムがあればいいな、と。
中尾教育長	カリキュラムについて、中尾教育長から構いませんか。 私も、通っている子供たちが、学校で生き生きとしていなければならないと思います。宮本教育委員がおっしゃったように、何か特色があるものが必要ですし、探求の時間と言えば南宇和高校でも今、授業で高校生が取り組んでいます。三崎高校で高校の魅力化を担当していた先生が南宇和高校に来て、特色ある教育、魅力ある授業を展開しているところです。その一環として、6人の南宇和高校生が毎月1回、教育長室を訪ねて来ていますが、その様子を外部にちゃんと見せられないかな、と思っています。海業、水産業と高校生が関わって、まちづくりの一翼を高校生が担っているというのを発信できたり、形にできたりということを進めていけたら、と考えています。 南宇和高校が本当に行きたい高校になるように、南宇和高校も取り組んでいただいています、私たちも一緒になって支えていきたいですね。
中村町長	南宇和高校には10何年前から支援してきましたが、その頃の町内からの進学率70%はあまり変わっていませんが、このまま行くと不安があって、最初に取り組んだのが、海外研修と遠距離通学で来る生徒へのバス代の補助でした。これをある程度続けていく中で、これだけでは厳しいことになるな、ということで南光叶夢センターを設立したりして、本来なら愛媛県が統一的にやるべきことなんですが、先ほど見てもらったように1年で49人生まれても15年後には1学年49人でしかなく、その7割が南宇和高校に進学しても大変厳しい状況になっています。 ぜひ教育委員会に取り組んでいってもらって、ちょっと地元では進学が難しいと言われないような体制作りがほしいな、と思います。町側としても支援していきたいので、教育委員会にはこれからもよろしくお願いします。
大野教育委員	統廃合の話なんです、今の状況でいいのかな、と思

中尾教育長	っています。南宇和高校の話が出ましたが、例えば一校、愛南中学校で受け入れして南宇和高校の付属で、とか、いろいろなアイデアがあると思いますが。 それが、令和9年度以降という統廃合の検討というのは遅いのではないかな、と思います。 教育委員会としても令和9年度を目標に進めています が、社会が大きく変化していますので、統廃合検討委員 会の諮問自体を見直すべき、と考えています。 もう一度統廃合検討委員会を招集できないか、という ようなことを提案し、できたらそこに新しい考え方、例 えば、学識経験者、大学の先生とか外部の方を交えて、 新しい学校の未来を考えていく検討委員会を開いて、そ の上で新しいビジョンを作りたいと考えています。
坂本学校教育課長	先ほど、篠山小中学校の件もございましたが、地域の方 に文書でお知らせするなどして、その後篠山の地区の 状況で何か変わったようなことはございますか。
岡原健教育委員	宿毛市の山北地区の方でも、以前は学校を残してもら いたい、という気持ちが強かったですが、生徒も学校を 卒業されて、もう仕方がないかな、という気持ちがある 程度になっています。その点、正木地区の方が気持ちが 強いというのがありました。ただ、1学年3人とかでは かなり少なく、やっぱり今日改めてこの授業を見さ せてもらって、先生が質問したときに、子供たちがみん なで考えて声を出し合っているというのが聞こえて良か ったですね。小学校で4年と5年、中学校で2年と3年 しか児童生徒がいないというのは、すごくかわいそうだ なと思いますし、統廃合というのは、子供のことを考え たらいいんじゃないかなと思っています。
坂本学校教育課長	篠山小中学校ですが、明日、我々も学校運営協議会に お伺いさせていただいて、地域の皆さん、保護者の皆さんと、再度合意形成に向けて協議させていただく予定です。
上原教育委員	統廃合については、ずっと先に少なくなってくるのは、

坂本学校教育課長	小学校の手前の保育所、また幼稚園です。保育所を選ぶ時代になっていますし、再編等も視野に入れていただけたら。 それでは、ちょうど予定していたお時間になりましたので、以上を持ちまして令和7年度愛南町篠山小中学校組合総合教育会議を閉会したいと思います。 本日は、ありがとうございました。
-----------------	---